

vol.27

隔月刊 本体価格1111円(税込)

# 社長情報

一品力  
を磨き、  
市場を拓け!

Special  
interview

<http://www.ceo-vnetj.com>

純米大吟醸「獺祭」、  
これ一本で売上40倍



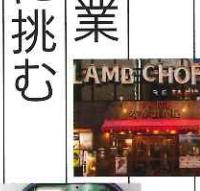
▼旭酒造 代表取締役  
桜井博志氏

CLOSE UP

座談会  
スペシャル

和の食ビジネスも  
「六次産業化」を目指せ！

■「かぶりつきスタイル」で下町庶民を魅了する  
台湾政府や大手と協業、IOTの一気通貫企業



## ママの販売力

徹底した女性目線で  
急成長 女性社員が活躍

東京・赤坂に本部を構える不動産ベンチャーのネクストワンインターナショナル（以下、ネクストワン）。2010年の設立ながら、年間約160棟を販売、売上高は今期45億円を見込むなど急成長している。

その原動力は、「女性」だ。夫婦共働きが一般的になつたとはいっても、家にいる時間は女性のほうが長いのが実態。特に子どもが小さい子育て世代はそうだ。同社はそこに着目し、女性目線に徹底してこだわった家づくりを行なっている。

主力ブランドの「With Mama の家」（ウイズママの家）は、「ママが暮らしやすい家」がコンセプトだ。たとえば、キッチン。子ども部屋のある2階への階段がカウンター越しに見える位置にある。学校から帰宅した子どもを、家事をしながら確認できる。玄関はとくに余裕をもたせ、ベビーカーの出入りが楽々できるようになつた。こうした「ママ目線」の工夫が随所に施されている。

これらのアイデアの源泉となつているのが、「ママ座談会」。子育て奮闘中の母親のリアルな声を拾うために、住宅を購入したオーナーのほか、現在建築中の女性に集まつてもらい、理想の家づくりを語り合つてもらう。



## ネクストワンインターナショナル株式会社

●代表取締役

# 遠藤一平

1978年生まれ。大学2年時に宅地建物取引士の資格を取得し、3年時には住宅販売を経験。大学卒業後、大手ハウスメーカーを経て、父親の経営する東日本建設へ入社。訪問営業の実績により会社を急成長させた後、2010年に事業を承継。同年、ネクストワンインターナショナルを設立、注文住宅「ウイズママの家」ブランドや中古マンション販売事業を手掛ける。

## ネクストワンインターナショナル株式会社

●代表取締役 遠藤一平

### COMPANY PROFILE

#### ネクストワンインターナショナル株式会社

代表取締役 遠藤一平

事業内容 ●不動産販売、住宅販売、保育園経営ほか  
設立 ●2010年11月  
資本金 ●6000万円（ネクストワングループ企業総資本金）  
売上高 ●約45億円  
所在地 ●東京都港区赤坂3-5-5  
ストロング赤坂ビル4F（東京本部）  
電話 ●03-6277-6049  
URL ●<http://www.next1.co.jp/>

# ママの声がつくった家を ママたちが売る、仕組みをFC化

## ママの「家」システム

に聞きとり、細かな要望も汲み取りやすい。

社長の遠藤一平は「当社では女性社員が非常にやる気を持つていて、実績も上げています。営業の約6割が女性で、今年の新卒も5人中4人が女性です。私も女性の活躍に非常に期待しており、これからさらに社員の女性比率が高まっていくと思います。これは女性だけではないですが、FP（ファイナンシャルプランナー）や宅建（宅地建物取引士）などの資格取得も支援しています」と語る。

### 認可外保育所も運営

#### スタッフは住宅オーナー

全国的に待機児童が問題になるなか、15年4月、千葉県市原市に「ウイズママ保育園」がオープンした。運営するのは、ネクストワンだ。認可外保育所だが、一時預かりを含め1

日約20人を預かる。

開園のきっかけは、やはりママ座談会だ。小さな子どもを抱えながらでは、間取りなどの打ち合わせに集中できない——。そんな声に対応できなかつたと考えていた時に、ウイズママの家のオーナーに保育士の有資格者がいたことから、働いてもらうことにした。

「保育士の資格を生かしてもらえばすし、当社も知らない人を採用するよりも、オーナーを採用したほうがいい。それと同時に、うちで働くことでゼロ円住宅になるんです。住宅ローンは月7万円程度ですから、保育園の給料で返済できます」

同社の社員も子どもを同保育所預けるようになり規模が拡大、いまでは5人の女性スタッフが働く。うち4人はウイズママの家のオーナーで、3人は保育士の資格を持つ。「ウイズママ保育園は建物が広く、空いている部屋があるので、ママさ

んたちのサークル活動などに定額の料金で貸し出しています。住宅メーカーの枠を越えて、女性に優しい会社として社員や近隣の人、さらに地域貢献にもなつていければいいなと思っています」

事業の多角化を進める  
フランチャイズ展開も

ネクストワンは現在、「ウイズママの家」で作り上げた販売システムを、フランチャイズ展開する計画を進めている。

「ママさんたちには口コミ力とネットワークがある。そのパワーを活用しようというものです。ママさんにもメリットがあり、営業的にも効果があがる新しい仕組みを考えています」

同社はこのほか、戸建て住宅の開拓を成長ドライブに、今後3年間で売上高100億円を目指したい」と意欲を示す。

IPPEI ENDO



の「FREEQ HOMES（フリーケーポムズ）」や、スキップフロアを採用した自然なコミュニケーションを育む家「BinO（ビーノ）」など複数のブランドを展開している。また、戸建事業に加え、マンション事業や、関連会社が手がける老人ホームなどの特建事業、中古マンションを扱う「ある！ある！情報館」など事業の多角化を進めている。海外市場の開拓にも積極的だ。韓国では現在、日本人駐在員向けに賃貸マンション事業を行なつていて、今後は戸建住宅への参入を考えているが、今は戸建住宅への参入を考えている。また、ベトナムにも進出、すでに宅地造成を進めており、年内にもモデルハウスを建て、富裕層向けに戸建住宅の販売を始める予定だ。遠藤は「事業の多角化と海外市場の開拓を成長ドライブに、今後3年間で売上高100億円を目指したい」と意欲を示す。